

町民の皆さま、あけましておめでとうございます。本年もご支援の程、どうぞよろしくお願いいたします。さて、新年ですので、『おめでたい』話題を皆さまにお届けします。

◆祝・広島県初の快挙!! おみやげグランプリ2015で、寺領・味野里『チョコちゃん』が準グランプリの栄冠に輝く!!

国土交通省(観光庁)が立上げ、昨年からフジサンケイグループを主体とした実行委員会主催の国内のお土産特産品最大規模のコンテスト『おみやげグランプリ2015』で、寺領・味野里の『チョコちゃん』が準グランプリ(第2位)を獲得しました!!

例年の受賞者は、国内各地で懸命に特産品開発を実施しているJAグループや企業であり、小さな地域グループがこのような大きな賞に輝くことは極めて稀で、まさに『快挙』と呼ぶに相応しい出来事です。

1月9日に表彰式があり、約30万人が来場する『ふるさと祭り東京』の主会場である東京ドーム特設ステージで、吉村作治審査委員長(早稲田大学名誉教授)から賞状などが授与されます。

◆『地方創生』の絶対公式『自助→共助→公助』的取組みの優等生『チョコちゃん』が取り持つ時系列による地域内連携の『環の拡がり』

◇3年前…チョコちゃんは販売単価200円、製造数は200個程度で、寺領味野里だけが製造していましたが、当協会が素材の良さに着目し、寺領味野里さんに『チョコちゃん』の持つ潜在能力の高さを訴え、一緒にブラッシュアップ(磨き上げ)することに合意いただきました。

◇2年前…当協会が役場の支援を受けながらモンドセレクションに出品、山県郡内初の銅賞を受賞しました。

◇1年前…地域おこし協力隊の河内佑真かわちゆうま隊員が、チョコちゃんブラッシュアップディレクター(責任者)を務め日本有数のパティシエ、大塚良成おおつかよしなり氏の全面協力による『生産工程改革』を行い、町内有志のグループ『あきおおたん制作委員会』がパッケージを一新した結果、初年度販売単価500円、販売個数3,000個弱となり、町外の『柿』菓子製造事業者よりも高単価で『干し柿』を購入できるようになった結果、祇園坊柿生産農家に喜ばれ、優先的に原料供給を受けられるようになりました。

◇現在…寺領味野里以外の町内2事業者によるOEM(受託生産)体制が整い、年間30,000個製造、販売価格は540円になりました。通信販売もスタートし、順調に売り上げを伸ばしています。大手企業などから『チョコちゃん』取り引きオファー(注文)が来るようになり、それに連動して『祇園坊干し柿』への問い合わせも格段に増加しました。(道の駅では『高く』、『多く』売れるようになりました。)

役場の支援による『全国展開に必要な品質維持』への取組みがスタートしました。

◆『チョコちゃん』準グランプリ獲得が持つ意味

①地域住民が長年大切に育ててきた『勝負できそうな素材』を見出し、町内在住の『Iターン者や若者』さらには町外のスペシャリストに参与してもらうことで、素晴らしい成果を生み出すことが出来ると証明できました。

②『味野里』の地道な頑張り【自助】→観光協会やIターン者・若者達のサポート【共助】→行政支援【公助】が良いバランスで作用し『成果』を出した好例であり、言わば『地方創生』の有り方そのものといえます。

③地方創生の大原則である【三方良し】(お客良し・商売良し・社会良し)を具現化できました。

④チョコちゃんを『全国市場への切り込み隊長』として高付加価値ブランド化することは、必ずや『祇園坊柿』の高付加価値ブランド化にたどり着き、生産者の収入が向上することで、やがて作付面積拡大や若手就農者の獲得に繋がっていきます。

今後も、当協会が有する『有望素材を見抜く目・マーケティング・商品開発・プロモーション能力』と『町内外の人・物・知恵・資金を繋げる能力』を『三方良し』の精神で、安芸太田町活性化のために力を尽くしますので、『これはっ!?!』と思われる有形・無形の素材がありましたらご提案をお待ちしています。